

海上保安友の会札幌支部

会報 (第42号)



令和5年3月8日発行



表紙写真 (PL89となった「えさん」)

海上保安友の会札幌支部事務局
〒047-0007
小樽市港町5番2号 小樽地方合同庁舎
小樽海上保安部 管理課 内
電話 0134-27-6118 F A X 0134-23-9700

正会員数 81名 (R5.3.1現在)

海上保安友の会



トピック

～令和 5 年 2 月 2 2 日 巡視船えさん配置替～

令和 5 年 2 月 1 0 日、小樽海上保安部所属の「PL 1 2 えさん」が、石垣海上保安部所属の「PL 8 9 あぐに」との配置替のため小樽港を出港しました。

両船はいずれも平成 2 8 年に就役した巡視船ですが、対応する主な業務が異なり、特に稼働状況に差が発生しており、本庁において、海上保安庁全体の体制や業務ニーズ等を総合的に勘案し、検討した結果、配置替が決められました。

巡視船「えさん」と「あぐに」は、令和 5 年 2 月 2 2 日、配置替が完了となり、PL 8 9「えさん」は、令和 5 年 2 月 2 7 日小樽港へ無事入港しました。

配置替となり PL 1 2 から PL 8 9 となった「えさん」をよろしくお願いいたします。



令和 5 年 2 月 1 0 日 石垣港向け出港する PL 1 2 えさん



令和 5 年 2 月 2 7 日 小樽港に入港する PL 8 9 えさん

～令和 4 年度の秋冬の活動～

小樽海上保安部の今年度下半期秋冬の活動について、ご紹介いたします。

① 日和山灯台一般公開

令和 4 年 1 0 月 2 9 日（土）午前 1 0 時～午後 3 時までの間、日和山灯台において、灯台記念日事業の一環として日和山灯台の一般公開を実施しました。



日和山灯台では今年度展示室の改修工事を実施しており、日和山灯台の新旧ジオラマ（川越功一・一部次長（前小樽部長）作製）灯台機器及びパネル等の展示を行い、来場した 1 0 2 名の皆様に対し航路標識の周知啓発を行いました。



② 小樽海上技術短期大学校との交流事業

令和4年11月9日（水）
小樽海上技術短期大学校の学生約30名に対して、巡視船しれとこ船内の公開・見学を実施しました。

小樽海上保安部では、同短期大学校学生の学習への取り組みに協力するとともに、海上保安業務への知識と理解を深めてもらうことを目的として、昨年度から、船舶の航海士を養成する小樽海上技術短期大学校と交流を図っています。



③ 「118番」特別イベント開催！

海上保安庁では、緊急通報用電話番号「118番」の正しい利用方法と重要性をより一層多くの方々に知って頂くため、毎年1月18日を「118番の日」と定め、周知活動を行っております。



「うみまる」「ドーレくん」と記念撮影

小樽海上保安部では、海上保安友の会札幌支部の皆様のご協力を頂き、第一管区海上保安本部とともに国民の皆様へ「118番」の更なる浸透を目指して北海道コンサドール札幌の協力を得て、令和5年1月15日（日）正午～午後3時00分までの間、ウイングベイ小樽2番街2階特設会場において、当庁イメージキャラクター「うみまる」と北海道コンサドール札幌マスコットキャラクター「ドーレくん」との写真撮影、業務紹介パネル展示、制服試着等の特別イベントを開催いたしました。



海上保安官と記念撮影

④ 海保、警察、消防による合同潜水訓練

令和 5 年 2 月 1 4 日及び 1 5 日、小樽海上保安部は、小樽港第 2 ふ頭 7 号岸壁（巡視船ほろべつ係留場所）において、北海道警察機動隊及び航空隊、札幌市消防局、小樽市消防本部、石狩北部地区消防事務組合石狩消防署の計 5 機関により、港湾における水難事故を想定した合同潜水訓練を実施しました。



萩中小樽海上保安部長挨拶

本訓練は、救助活動における水中作業の能力向上、関係機関間の連携強化を目的として実施するもので、各機関混成班を 3 班編成し、潜水士が一直線に並んで搜索する「平行搜索訓練」、ブイを中心に円を描くように搜索する「環状搜索訓練」、競技トラックを回るように搜索する「ジャックステイ訓練」を実施しました。



潜水訓練の状況

投稿

～～ 特別イベント・北海道コンサドーレ札幌とコラボに寄せて ～～

海上保安友の会 札幌支部 会長 徳梅 真

札幌支部会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。会長の徳梅です。

いまだに新型コロナウイルスとインフルエンザの感染症が流行している状況ですが油断せずに過ごして参りたいものです。

さて、話は変わりますが、去る1月15日(日)の12時から15時まで小樽市内のウイングベイ小樽のイベントホールにて第一管区海上保安本部「118」特別イベント・北海道コンサドーレが開催されるということで拝見をしてきました。

1月18日は海上保安庁緊急通報用電話番号「118番」の日を目前にしての普及・啓発にはインパクトがあり各関係者の方ばかりではなく一般の方々への周知に貢献する機会と思い今後も可能な限り継続をして頂ければと感じますのは私だけではないと思いました。

会場には、一管本部や小樽保安部の方々もコーナーでの設営等に忙しく働かれており隅々まで拝見をしておりましたところコンサドーレのマスコット・ドーレ君が出てくるということで楽しみに待っていたところ潜水士のうみまるとドーレ君と一緒に現れ会場は和やかな雰囲気の流れ、記念撮影では子供さんたちの人気の的になっていました。なかでもVR映像視聴体験コーナーはVRを装着しての海上保安官の普段の仕事ぶりを「3D映像」で見ることができるなど様々な業務内容を職員の方々が説明をされている姿を拝見し友の会の会員で良かったと再認識を致しました。



特に本部の両角総務課長にご挨拶をさせて頂きまして、ここ数年に渡り昨今の海上保安庁を取り巻く状況が厳しく、イベント等が思うように開催できないことについて会員の皆様には大変申し訳ないとお言葉を頂きましたことをこの紙面をお借りいたしまして、ご報告をさせていただきます。（来年度も広島サミット等の関係もあり）

後日、中西小樽保安部管理課長から今回のイベントには約300名程がコーナーに立ち寄られたとお話をお聞き致しましたので、会員の皆様には都合のつく限りこのようなイベントに是非ともご参加を頂き職員の方々と交

【機密性 1 情報】（友の会会報誌）

流して頂きたいと感じました。

最後になりましたが本年5月には当支部設立30年を迎える節目の年にもなります。

何か記念になります事業ができないものかと考えておりますのでご意見を頂ければと存じます。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

ありがとうございました。



令和5年1月30日 巡視艇やぐるま撮影 石狩湾けあらしの海

投稿

～～ 海上保安友の会 ～～

海上保安友の会 札幌支部 理事 丹羽 祐而

ボランティア活動で海浜のごみ拾いを四十年ほど実施しているうちに関わった組織がある。名称は「海上保安友の会・札幌支部。」

海の警察と呼ばれている海上保安庁が主役でファンクラブ風存在がこの「海上保安友の会」だと勝手に理解しているのである。

海上保安庁は各種海難事故をはじめ、領海侵犯の対処など多くの困難な問題にも精力的に臨んでいることは知られている。庁隊員の命がけの姿をテーマにしたテレビドラマや映画も製作され、人気を博している。足元定まらない大海原を舞台に懸命に稼働する勇姿に感動し共鳴するからであろう。海好きの僕も何かしら惹かれているようだ。

さて、晩秋の小春日和の朝、近くの丘珠空港から飛んだ。眼下に我が家をとっていたが、窓側でなく残念となった。席に着き文庫本三ページほどを進めていくうちに着陸態勢のアナウンスが流れた。三十分ほどの短いフライトで、何となく残念で寂しい気持ちをもったまま函館空港に降りることになった。

ところで、フライトの目的は周遊ではなく、当友の会の道南支部行事への参加であった。早い到着であったので、のんびりと空港周辺の眺望を楽しむ時間ができ、パイロットを夢見ていた僕には、まさにユートピアだった。さらに、啄木が詠んだ海浜周囲の空気も存分に身体の中に取り入れることができ、大きな満足感をゲットしたのだ。昼近くに、所属する札幌支部のT会長が空港に迎えに来てくれた。夫人同伴で札幌から車で来たのである。小学校の先生で、海とマラソンが好きな女性の副会長も同乗していた。昼食はと問われたので、函館名物のカレーを提案したが、行事の流れを考え近くの蕎麦屋にと収まった。僕は馬鹿のひとつ覚えよろしくカシワを頼んだ。オゾンたっぷりの

の空気のせい、とても美味しかった。

航空基地での行事は午後一時に開始。所属上官の挨拶が終わり、目の前の大型ヘリのエンジンが爆音を立てた。機体前方にいる女性隊員の優美な指示を受けながらエン



【機密性 1 情報】（友の会会報誌）

ジン調整をしているのだ。そして、十分ほど経過し機体がまっすぐ上昇。機から下がっているロープに救難隊員が見



巡視船おくしりでの船内説明

えた。事故に遭遇した折の救助の訓練だ。安全確認をしながら迅速で的確な一連の所作はとても見事だった。次は格納庫にある別な機体を間近に見ながらの説明を受けたあと、操縦席への乗り込みをした。狭い空間での初体験に僕は少し興奮をしたのだ。

多彩なプログラムが順調に進み次の行程となり、海上保安庁活動の主舞台ともいえる巡視船の停泊している函館港に向かった。

二班に分かれ乗船し、制服姿も凜々しい女性隊員の説明を受けながら船内見学となった。行動性の高い艦艇なので揺れ方は大きいとのことだった。そこでひとつ質問をした。「船酔いは？」と。「時折かなり酔います」と笑顔での即答があった。途端、僕は早く艦から降りたくなってしまったのである。

短時間ではあったが熟慮された進行に感謝しつつ、土産にももらったダシ昆布とともに夜の特急北斗で帰路についた。

カーピアセロム2023 2+3新春号掲載記事から引用



函館海上保安部所属 巡視船おくしり

投稿

巡視船に出会う旅 ～石垣島を訪ねて～

海上保安友の会 札幌支部 副会長 澤田奈緒美

1月中旬、沖縄県の石垣島に行きました。ダイビングと石垣島マラソン大会への参加が目的でしたが、その他にどうしても訪ねたい場所がありました。石垣海上保安部の巡視船艇が停泊している石垣港の埠頭です。石垣島に到着してすぐに、現地の友人にお願いして埠頭まで案内してもらいました。石垣港には何隻もの大型巡視船が停泊しており、雲の隙間から差し込む夕日に船体が照らされていました。その勇姿に感動すると同時に、ここが国境を守るための最前線であるという緊張感が伝わってきました。

翌日に行ったダイビングでは、ボートでポイントに向かう途中、出港・帰港する巡視船を見ることができました。巡視船の数がとても多いので、ここでは珍しい光景ではないそうです。石垣の海でのダイビングは初めてでしたが、驚くほどの透明度の高さ、魚の種類の多さと鮮やかさに圧倒されました。その景色に感動しながら、海上保安庁のスローガンである「未来に残そう青い海」という言葉を思い出しました。この美しい海、生き物たちの楽園がずっと続いていきますようにと、心から願いました。



せっかくの機会なので、石垣島の灯台巡りもしました。御神埼灯台には、タイルでミンサー織りの模様が描かれていました。沖縄の伝統的な織物の一つで「いつの世までも、末永く幸せに」という意味が込められています。石垣島最北端にある平久



【機密性 1 情報】（友の会会報誌）

保崎灯台は、沖縄県内で一番最初に「恋する灯台」に認定されたそうです。どちらも青く美しい海に囲まれ、いつまでも眺めていたくなるほどの素敵な風景でした。

石垣島マラソン完走後、どうしても名残惜しくて、再度石垣港に向かいました。すると、長崎海上保安部の巡視船「ほうおう」が停泊していました。海保ファンへのサプライズのように感じて嬉しくなり、何枚も写真を撮りました。

初の石垣島旅行では、たくさんの巡視船艇に出会うことができました。エメラルドブルーの海に映える白い船体に感動すると共に、これだけの大型巡視船が石垣島に集結していることの意味の重さを改めて感じました。厳しい仕事に従事する海上保安官の皆さんを、これまで以上に応援していきたいと強く思いました。



【機密性 1 情報】（友の会会報誌）



小樽海上保安部ホームページ



♪♪ **原稿・写真募集中** ♪♪

会員皆様の本会報への投稿記事又は写真などをお待ちしています。

また、海上保安新聞への投稿もよろしくお願ひします。

次の送り先に郵送又は FAX にて送付してください。

送り先：海上保安友の会札幌支部事務局
〒047-0007 小樽市港町 5-2 小樽海上保安部内

TEL0134-27-6118 FAX0134-23-9700